



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「伝統を受け継ぐ」 親子凧作り教室

福江小学校



● アドバイスを受け竹ひごの位置を確認する親子



● 体育館での凧作りの様子

令和元年11月24日(日)、親子凧作り教室を行いました。この行事は昭和60年から毎年行っている行事で、以前は連凧や六角凧など日本各地の凧も作っていましたが、平成27年からは田原凧を作っています。

田原凧は江戸時代から伝わる横長の凧で、頭に「うなり」という音の出る仕掛けがあることが特徴です。今回の凧作りでは、「うなり」は付けない横長の「田原凧」の製作に取り組みました。

初めに、体育館に入って通学団ごとに親子で座り、田原凧保存会の渡邊親悟さんと鈴木雅晴さんから、凧の作り方について説明を聞きました。

次に、通学団ごとの会場に分かれ、凧作りの開始です。低学年は保護者が中心となって作っていましたが、高学年になるにつれ、親子で協力しながら作る姿が見られました。凧保存会の方も、回りながらアドバイスをしてくださるので、安心して作ることができました。

できあがった凧は、今後親子で絵を描き、1月12日(日)に渥美運動公園で行われる「新春親子凧揚げ大会」で大空に揚げる予定です。



「心を込めて育てた花」 交通安全キャンペーン

伊良湖岬小学校

本校では、PTA委員と地域の方とともに、交通安全への取り組みとして、夏と冬に交通安全キャンペーンを実施しています。

夏は、全校児童が1人一鉢ずつ育てたひまわりの苗に手紙を添え、観光客が多く訪れる恋路ヶ浜駐車場で、交通安全を呼び掛けながら配布しました。

また、冬には渥美半島菜の花まつりに合わせて、菜の花の苗を育て、伊良湖菜の花ガーデンで配布しています。

この活動は、PTA委員・伊良湖地区コミュニティ協議会・和地駐在所・堀切駐在所・田原警察署交通課・校区青少年健全育成推進員の協力のもと実施されています。キャンペーン後には、手渡した観光客の方から、お礼の手紙やメールなどが届き、花が咲いた様子や交通安全に気を付けているとの言葉もいただいています。

このような啓発活動を通して、地域の方とともに、交通安全を広く呼び掛けながら、渥美半島へ訪れる方にも伊良湖岬の魅力も伝えています。



● ひまわりの苗を観光客に配る児童ら



● 交通安全キャンペーン関係者との記念写真